

# 氏子狩帳からみた岐阜県の木地師

安田 守

A study of Kijisi or Wood Carvers in Gifu to be found in 'Ujikogaricho'  
— a Register Book of Japanese Wood Carvers

Mamoru YASUDA

岐阜県には木地師の伝承が数多く残っているものの、木地師の状態がある程度わかるのは、近世になって氏子狩がはじまってからである。氏子狩とは、木地師根元の地の小椋谷（現在の滋賀県神崎郡永源寺町）から諸国に散在する配下の木地師を訪れて連絡を保つ仕組みで、氏子狩の役を務める巡国人は、氏子神役の代銭や儀式料等の徴収、寄進の勧誘、人別改めなどを行った。氏子狩を行った木地師根元の地には二派の支配所があり、蛭谷の筒井八幡宮、君ヶ畑の太皇大明神には木地師が職祖と仰ぐ小野宮惟喬親王がそれぞれ祭られている。全国に散在する木地師は、この根元地にあるいずれかの神社の氏子に属していた。

氏子狩により各地を巡回した記録を書き残したものが氏子狩帳（図1、図2）で、木地小屋の所在地と奉加金の額と内容、戸主名等が記されている。氏子狩帳は現在、蛭谷の筒井神社に32冊、君ヶ畑の金龍寺に51冊保存されている。それによると、氏子狩が行われた時期は、蛭谷側では正保4年（1647）から明治26年（1893）まで、君ヶ畑側では約半世紀遅れて元禄7年（1694）から明治6年（1873）までで、東北から九州に至るほぼ全国にその足跡を残した。

ここでは氏子狩帳からみた岐阜県の木地師について報告する。蛭谷側は杉本壽の「氏子駈帳原簿<sup>1)</sup>」、君ヶ畑側は橋本鉄男の「君ヶ畑氏子狩帳<sup>2)</sup>」を資料に、氏子狩が行われた時点での木地小屋の所在地を現在の地名にあてはめたのが表1であり、所在地の分布状況が図3である。岐阜県にかかわる氏子狩は明治13年（1880）で終るが、蛭谷側の明治15年（1882）の『寄進帳』と明治16年（1883）の『初穂帳』も参考までに表1に付け加えた。また、市町村名のみをの所在地は図1から除いた。一部不明な地名があったものの、岐阜県における氏子狩の概要を知ることができる。

これによると、明治13年までの氏子狩の巡回年数は、蛭谷側が美濃国21、飛騨国13、君ヶ畑側が美濃国16、飛騨国4となる。また、木地小屋の所在地は山間部を中心に39市町村に達し、岐阜県がいに木地師の活躍舞台であったかを知ることができる。

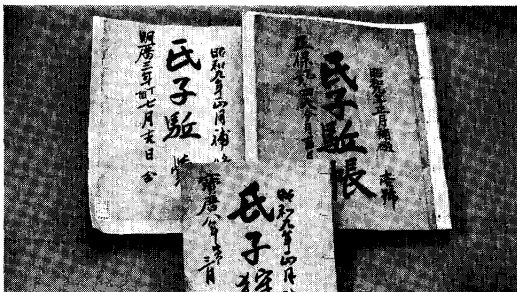


図1 蛭谷氏子狩帳



図2 君ヶ畑氏子狩帳









	正保四年	享保七年	享保二年	元文元年	寛保元年	延享二年	宝曆四年	宝曆六年	宝曆一年	明和二年	明和七年	明和八年	安永四年	寛政五年	寛政二年	享和元年	享和二年	文化元年	文化五年	文化九年	文政元年	文政九年	文政一〇年	天保三年	天保四年	天保一年	弘化二年	弘化三年	嘉永二年	嘉永五年	安政四年	安政元年	万延元年	明治五年	明治一年	明治三年	明治五年	明治六年		
上矢作町飯田洞																				◎																	◎			
上矢作町間野	●					●						◎										◎																		●
上矢作町阿岳												◎																												
上矢作町白井沢												◎																												●
上矢作町フタセ	●						◎																																	
上矢作町洗出	●																																							
上矢作町フジ沢	●	●																																						
上矢作町ミズ沢		●										◎																												
上矢作町川原小屋					●	◎	◎																																	
上矢作町女郎小屋								●	◎																															
上矢作町ホコロ沢						◎								●																										
上矢作町小桁沢											◎																													
上矢作町檜ヶ入														●																										
上矢作町大岩洞							●																																	
上矢作町オク洞													◎																											
上矢作町天堤																							◎																	

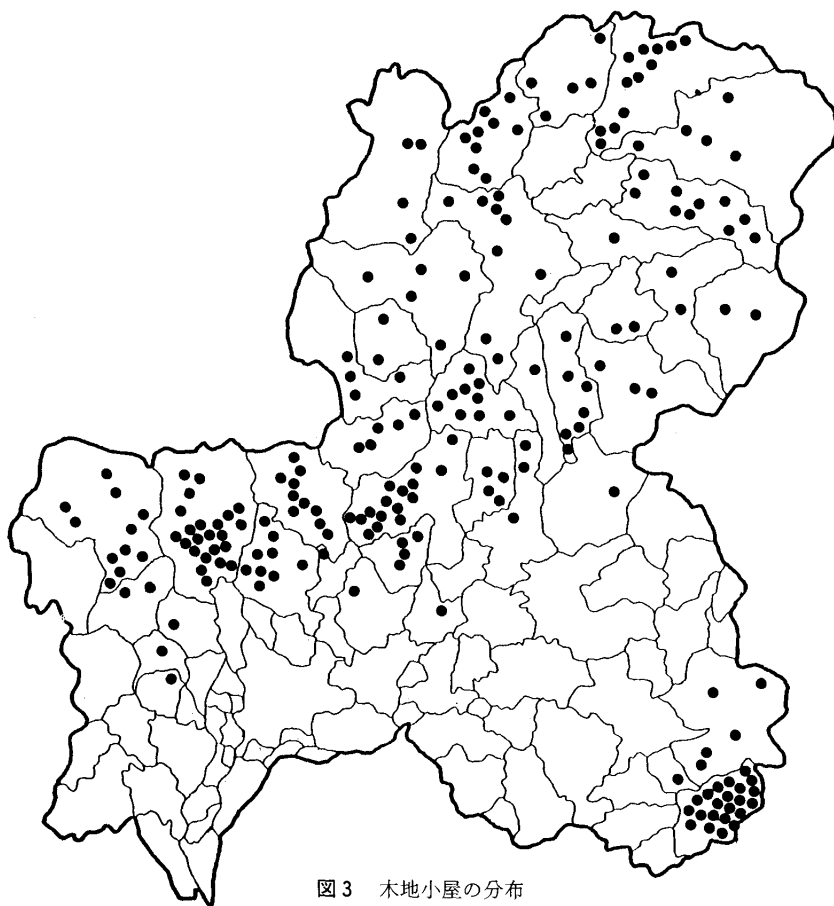


図3 木地小屋の分布

引用文献

- 1) 杉本 壽, 1972. 『木地師支配制度の研究』 ミネルヴァ書房 pp51-848
- 2) 橋本鉄男, 1970. 『木地屋の移住史 第一冊・君ヶ畑氏子狩帳』 民俗文化研究会 pp165-542